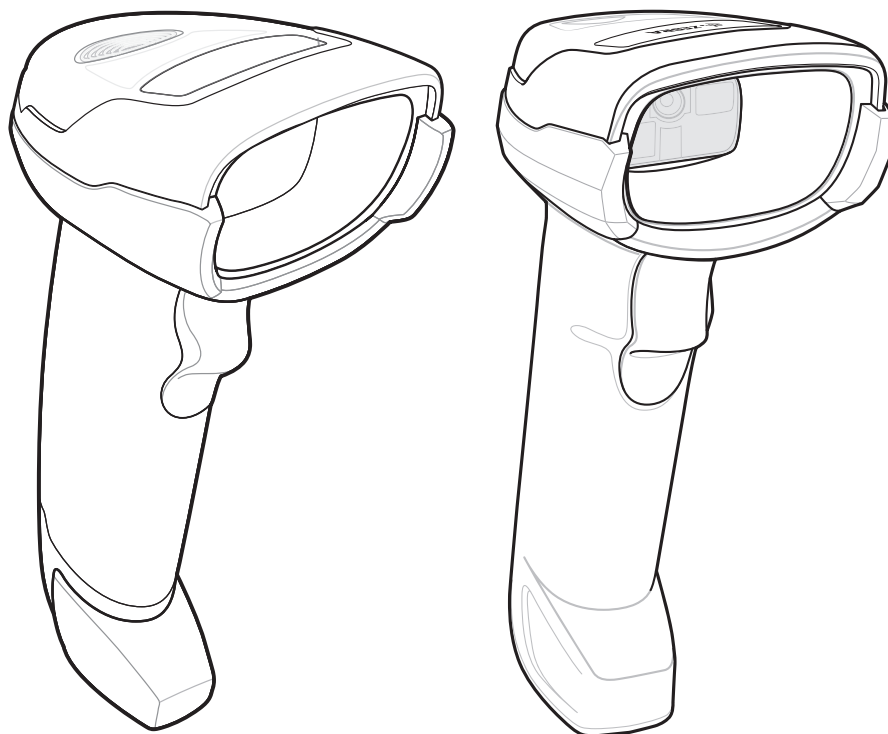




# DS2208-HC & DS2778-HC



デジタル スキャナ

---

プロダクト リファレンス ガイド  
補足版





# **DS2200-HC および DS2278-HC デジタル スキャナ プロダクト リファレンス ガイド 補足版**

MN-003641-01JA

改訂版 A

2019 年 10 月

本書のいかなる部分も Zebra の書面による許可なしには、いかなる形式でも、または電氣的もしくは機械的な手段でも複製または使用できません。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。Zebra は、本契約に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェア プログラム (ライセンス プログラム) を使用する譲渡不可で非排他的なライセンスをユーザーに付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Zebra の同意がなければ、ユーザーはライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲できません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの全体または一部をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークで使用することを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebra の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的で、製品に変更を加える権利を有します。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。明示的、黙示的、禁反言またはその他の特許権上または特許上のいかなる方法によるかを問わず、Zebra 製品が使用された組み合わせ、システム、機材、マシン、マテリアル、メソッド、またはプロセスを対象として、もしくはこれらに関連して、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

## 保証

ハードウェア製品の保証については、サイト (<http://www.zebra.com/warranty>) にアクセスしてください。

## 改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2019 年 10 月	初期リリース

# 目次

保証 .....	ii
改訂版履歴 .....	ii
このガイドについて .....	
はじめに .....	v
構成 .....	v
関連する製品ラインの構成 .....	vi
ケーブル .....	vi
章の説明 .....	vi
表記規則 .....	vi
関連文書 .....	vii
サービスに関する情報 .....	vii
マニュアルについてのフィードバック .....	viii
第 1 章 : はじめに .....	
はじめに .....	1-1
インタフェース .....	1-2
パッケージの開梱 .....	1-2
DS2208-HC をセットアップする .....	1-3
インタフェース ケーブルの接続 .....	1-3
インタフェース ケーブルの取り外し .....	1-4
電源の接続 (必要な場合) .....	1-4
デジタル スキャナの設定 .....	1-4
アクセサリ .....	1-4
DS2278-HC のセットアップ .....	1-5
クレードルの外観 .....	1-5
DC 電源の使用 .....	1-6
DS2278-HC バッテリーの充電 .....	1-6
クレードルを使用した充電 .....	1-6
プレゼンテーション クレードル .....	1-7
クレードルの接続 .....	1-7
ホスト インタフェースの変更 .....	1-7
Micro USB ケーブルを使用した充電 .....	1-8
デジタル スキャナ バッテリーの遮断 .....	1-9

バッテリーの取り付け .....	1-9
バッテリーの取り外し .....	1-10
クレードルに対する DS2778-HC のセット .....	1-11
ホスト コンピュータに対するデータの送信 .....	1-11
ペアリング .....	1-11
ホスト接続の切断 .....	1-12
アクセサリ .....	1-12
<b>第 2 章 : メンテナンスと技術仕様</b>	
はじめに .....	2-1
メンテナンス .....	2-1
既知の有害成分 .....	2-1
使用可能な洗剤 .....	2-2
デジタル スキャナのクリーニング .....	2-2
技術仕様 .....	2-3
<b>第 3 章 : ユーザー設定およびその他のオプション</b>	
はじめに .....	3-1
パラメータの設定 .....	3-1
スキャン シーケンスの例 .....	3-2
スキャン中のエラー .....	3-2
ユーザー設定とその他のオプションのデフォルト パラメータ .....	3-2
ユーザー設定 .....	3-3
デフォルト パラメータ .....	3-3
通知を非表示モード ( 直接読み取りインジケータ ) .....	3-4
<b>第 4 章 : シンボル体系</b>	
はじめに .....	4-1
パラメータの設定 .....	4-1
スキャン シーケンスの例 .....	4-2
スキャン中のエラー .....	4-2
シンボル体系パラメータのデフォルト一覧 .....	4-2
すべてのコード タイプの有効化 / 無効化 .....	4-3
ISBT 連結 .....	4-4
Code 128 セキュリティ レベル .....	4-5
Code 128 セキュリティ レベル ( 続き ) .....	4-6
Composite .....	4-7
Composite CC-C .....	4-7
Composite CC-A/B .....	4-7

# このガイドについて

## はじめに



**重要** すべてのインタフェースのセットアップ、LED とビープ音の表示、標準プログラミング バーコード、およびその他の機能については、『DS2208 デジタル スキャナ プロダクト リファレンス ガイド』(p/n MN-002874-xx) および 『DS2278 デジタル スキャナ プロダクト リファレンス ガイド』(p/n MN-002974-xx) を参照してください。

この『DS2208-HC および DS2278-HC プロダクト リファレンス ガイド補足版』では、ヘルスケア向けデジタル スキャナ シリーズ DS2200 を対象として、セットアップ、操作、保守の一般的な手順について説明します。

## 構成

このガイドで扱う DS2208-HC および DS2278-HC シリーズ デジタル スキャナの構成は、表 A に示されています。

表 A: デジタル スキャナの構成

モデルの構成	説明
DS2208-HC0000BZZRW	DS2208: エリア イメージャ、ヘルスケア、コード付き、HC ホワイト - LA、EMEA、APAC限定
DS2278-HC0000BZZRW	DS2278: エリア イメージャ、ヘルスケア、コードレス、HC ホワイト - LA、EMEA、APAC限定
CR2278-PC1000BRW	DS2278: プレゼンテーション クレードル、Bluetooth、ヘルスケア ホワイト - LA、EMEA、APAC限定

## 関連する製品ラインの構成

DS2208-HC および DS2278-HC デジタル スキャナの製品構成は以下のとおりです。



注 使用可能なすべてのアクセサリに関する追加情報、および最新の使用可能な製品構成については、Solution Builder で確認してください。

表 B: デジタル スキャナ用アクセサリ

製品 ID	説明
22-71043-0BR	グースネック インテリスタンド。重り付き - DS2208、DS4308、DS8108、HC ホワイト
20-71043-0BR	グースネック インテリスタンド - DS2208、DS4308、DS8108、HC ホワイト

## ケーブル

サポートされているケーブルの完全なリストは、次の URL を参照してください。

[https://partnerportal.zebra.com/PartnerPortal/product\\_services/downloads\\_z/barcode\\_scanners/Universal-Cable-Guide-Bar-Code-Scanners.xlsx](https://partnerportal.zebra.com/PartnerPortal/product_services/downloads_z/barcode_scanners/Universal-Cable-Guide-Bar-Code-Scanners.xlsx)

## 章の説明

このガイドは、次のトピックで構成されています。

- 第 1 章「はじめに」では、製品の概要、開梱、およびケーブルの接続方法について説明します。
- 第 2 章「メンテナンスと技術仕様」では、推奨されるデジタル スキャナのメンテナンスと技術仕様について説明します。
- 第 3 章「ユーザー設定およびその他のオプション」では、各ユーザー設定機能について説明し、これらの機能を選択する際のプログラミング バーコードを掲載しています。
- 第 4 章「シンボル体系」では、すべてのシンボル体系の機能について説明し、デジタル スキャナでこれらの機能を選択するためのプログラミング バーコードを示します。

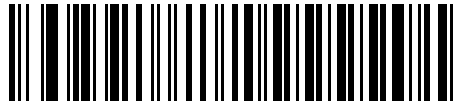
## 表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 特に明記されていない限り、DS2200 はコード付きとコードレスの両方のデジタル スキャナを指します。
- 斜体は、次の項目の強調に使用します。
  - 本書および関連文書の章およびセクション
  - ダイアログ ボックス名、ウィンドウ名、画面名
  - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
  - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名



- 太字は、次の項目の強調に使用します。
  - キーパッド上のキー名
  - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
  - 実行する操作
  - 代替方法のリスト
  - 実行する必要があるが、任意の順番で実行できる手順のリスト
- 順番どおりに実行する必要がある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。
- 本章で説明するプログラミング バーコード メニューでは、デフォルト設定のパラメータにアスタリスク (\*) を付けています。



\* はデフォルトを示す      \*ボーレート 9,600      機能/オプション

## 関連文書

- 『DS2208 Series Quick Start Guide』(p/n MN-002873-xx) では、DS2208 デジタル スキャナを使い始めるうえでの一般的な情報と、基本的なセットアップや操作手順について説明しています。
- 『DS2278 Series Quick Start Guide』(p/n MN-002916-xx) では、DS2278 デジタル スキャナを使い始めるうえでの全般的な情報、および基本的なセットアップや操作手順について説明しています。
- 『Advanced Data Formatting Programmer Guide』(p/n 72E-69680-xx) では、ADF (ホスト デバイスに転送する前にデータをカスタマイズする手段) について説明しています。
- 『Attribute Data Dictionary』(p/n 72E-149786-xx) では、属性番号 (デバイス構成パラメータ、監視対象データ、作成日) が規定されています。また、バーコード スキャナと OEM エンジンのさまざまな属性ドメインの管理について記載されています。

本書をはじめとするすべてのガイドの最新版は、[www.zebra.com/support](http://www.zebra.com/support) から入手可能です。

## サービスに関する情報

本機器の使用中に問題が発生した場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合は、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、次のサイトに問い合わせます: [www.zebra.com/support](http://www.zebra.com/support)

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra では、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

サポートが問題を解決できない場合は、修理のために機器をご返送いただく場合があります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認された梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な方法で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

---

## マニュアルについてのフィードバック

このマニュアルについてご意見やご質問、ご提案がありましたら、[EVM-Techdocs@zebra.com](mailto:EVM-Techdocs@zebra.com) までメールでお寄せください。

# 第 1 章 はじめに

---

## はじめに

Zebra のヘルスケア向け DS2200 シリーズは、患者ケアの改善、臨床医の生産性向上、PoC (Point of Care) の操作性向上を目的として設計されています。汎用スキャナとは異なり、消毒可能なハウジングは定期的な消毒に強い耐性を発揮します。また、Zebra の PRZM ソフトウェア読み取りアルゴリズムにより、患者のベッドサイド、薬局、入院時など、医療ニーズに応じて、初回/毎回のスキャンで柔軟にバーコードを読み取れます。

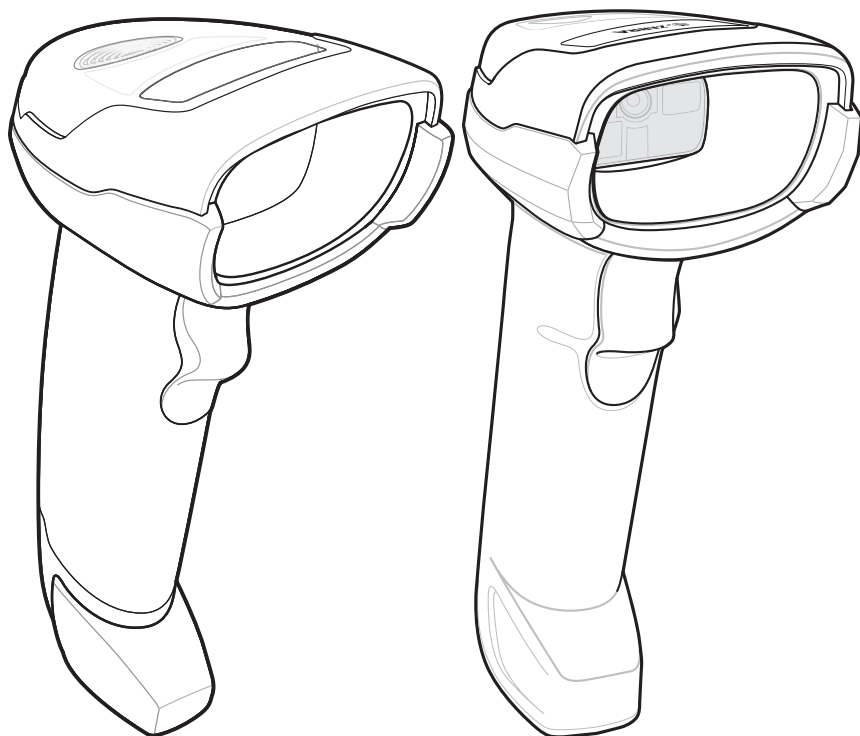


図 1-1 DS2208-HC (左)/DS2278-HC (右) デジタル スキャナ

---

## インタフェース

DS2208-HC/DS2278-HC デジタル スキャナは、次をサポートします。

- ホストに対する USB 接続。デジタル スキャナは、USB ホスト インタフェース タイプを自動で検出して、デフォルト設定を使用します (**USB キーボード HID**)。デフォルト (\*) が要件に合わない場合は、プログラミング バーコード メニューをスキャンして別の USB インタフェース タイプを選択します。
- ホストに対する 標準 RS-232 接続。デジタル スキャナは、RS-232 ホスト インタフェース タイプを自動で検出して、デフォルト設定を使用します (**標準 RS-232**)。デフォルト (\*) が要件に合わない場合は、プログラミング バーコード メニューをスキャンして別の RS-232 インタフェース タイプを選択します。
- IBM 468X/469X ホストに対する接続。デジタル スキャナは、IBM ホストのインタフェース タイプを自動で検出しますが、デフォルト設定は選択しません。バーコード メニューをスキャンして、デジタル スキャナと IBM 端末が通信できるようにセットアップしてください。
- ホストに対する Keyboard Wedge 接続。スキャンされたデータはキー入力として解釈されます。デジタル スキャナは、Keyboard Wedge ホストのインタフェース タイプを自動で検出して、デフォルト設定を使用します (**IBM AT ノートブック**)。
- 123Scan 経由の設定。

---

## パッケージの開梱

デジタル スキャナの梱包を解き、損傷がないかどうかを調べます。配送中にスキャナが損傷した場合は、サポートまでご連絡ください。詳細については、[vii ページ](#) ページを参照してください。梱包資材は、保管しておいてください。これは輸送用として承認されたものです。修理のために機器をご返送いただく場合は、この梱包資材を使用してください。

## DS2208-HC をセットアップする

### インタフェース ケーブルの接続

1. インタフェース ケーブルのモジュラ コネクタを、デジタル スキャナの背面にあるインタフェース ケーブル ポートに、カチッという音が聞こえるまで差し込んでください。

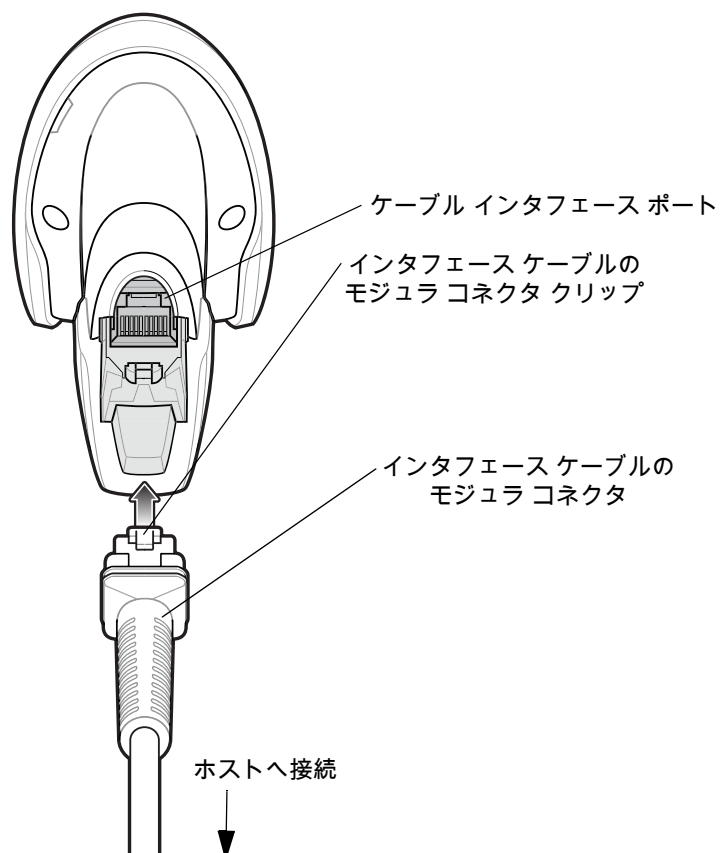


図 1-2 ケーブルの接続 - DS2208-HC



**重要** ケーブルをケーブル インタフェース ポートに、カチッという音が聞こえるまで差し込んでください。

レガシー製品 (LS2208 など) のシールドなしケーブルがすでにある場合は、再使用できます。ただし、シールドありケーブルの方がより高い ESD 性能が得られることに留意してください。ケーブルおよびケーブルの互換性に関する地域ごとの情報については、以下の Zebra パートナー ポータルにアクセスしてください:

[https://partnerportal.zebra.com/PartnerPortal/product\\_services/downloads\\_z/barcode\\_scanners/Universal-Cable-Guide-Bar-Code-Scanners.xlsx](https://partnerportal.zebra.com/PartnerPortal/product_services/downloads_z/barcode_scanners/Universal-Cable-Guide-Bar-Code-Scanners.xlsx)

2. ケーブルを軽く引っ張り、コネクタが確実に接続されていることを確認します。
3. インタフェース ケーブルのもう一端をホストに接続します (ホスト接続の詳細については、該当するホストの章を参照してください)。

## インタフェース ケーブルの取り外し

1. デジタル スキャナのベースにあるアクセス スロットからケーブルのモジュラ コネクタ クリップを押します。

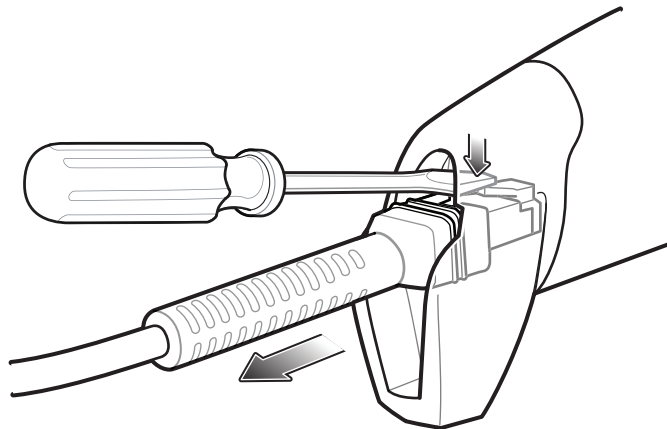


図 1-3 ケーブルの取り外し

2. 注意してケーブルをスライドし、取り外します。
3. 新しいケーブルを接続するには、**インタフェース ケーブルの接続** の手順に従います。

## 電源の接続 (必要な場合)

ホストからデジタル スキャナに給電されない場合は、次の手順で外部電源を接続します。

1. 電源をインタフェース ケーブルの電源ジャックに差し込みます。
2. 電源のもう一端を AC コンセントに差し込みます。

## デジタル スキャナの設定

デジタル スキャナを設定する場合、このマニュアルに記載されているバーコードか 123Scan<sup>2</sup> 設定プログラムを使用してください。バーコード メニューを使用したデジタル スキャナのプログラミングについては、**第 3 章「ユーザー設定およびその他のオプション」** および **第 4 章「シンボル体系」** を参照してください。

## アクセサリ

デジタル スキャナには『DS2208 Quick Start Guide』が付属しています。次の必須アクセサリを注文する必要があります。

- 適切なインタフェースに対応したインタフェース ケーブル。たとえば、USB 経由の接続時にはシールドコネクタ ケーブル。ケーブルおよびケーブルの互換性に関する地域ごとの情報については、以下の Zebra パートナー ポータルにアクセスしてください：

[https://partnerportal.zebra.com/PartnerPortal/product\\_services/downloads\\_z/barcode\\_scanners/Universal-Cable-Guide-Bar-Code-Scanners.xlsx](https://partnerportal.zebra.com/PartnerPortal/product_services/downloads_z/barcode_scanners/Universal-Cable-Guide-Bar-Code-Scanners.xlsx)

✓ **重要** レガシー製品 (LS2208 など) のシールドなしケーブルがすでにある場合は、再使用できます。ただし、シールドありケーブルの方がより高い ESD 性能が得られることに留意してください。

- ユニバーサル電源 (インタフェースで必要な場合)。
- DS2208-HC のハンズフリー操作を行うためグースネック インテリスタンド。

追加のアイテムについては、Zebra の販売担当者またはビジネス パートナーにお問い合わせください。

## DS2278-HC のセットアップ



**重要** CR2278-PC クレードルは、DS2278-HC 以外のデジタル スキャナには使用しないでください。他のクレードルは、DS2278-HC と互換性がありません。

DS2278-HC デジタル スキャナは、CR2278-PC 以外のクレードルには使用しないでください。他のスキャナは、CR2278-PC クレードルと互換性がありません。

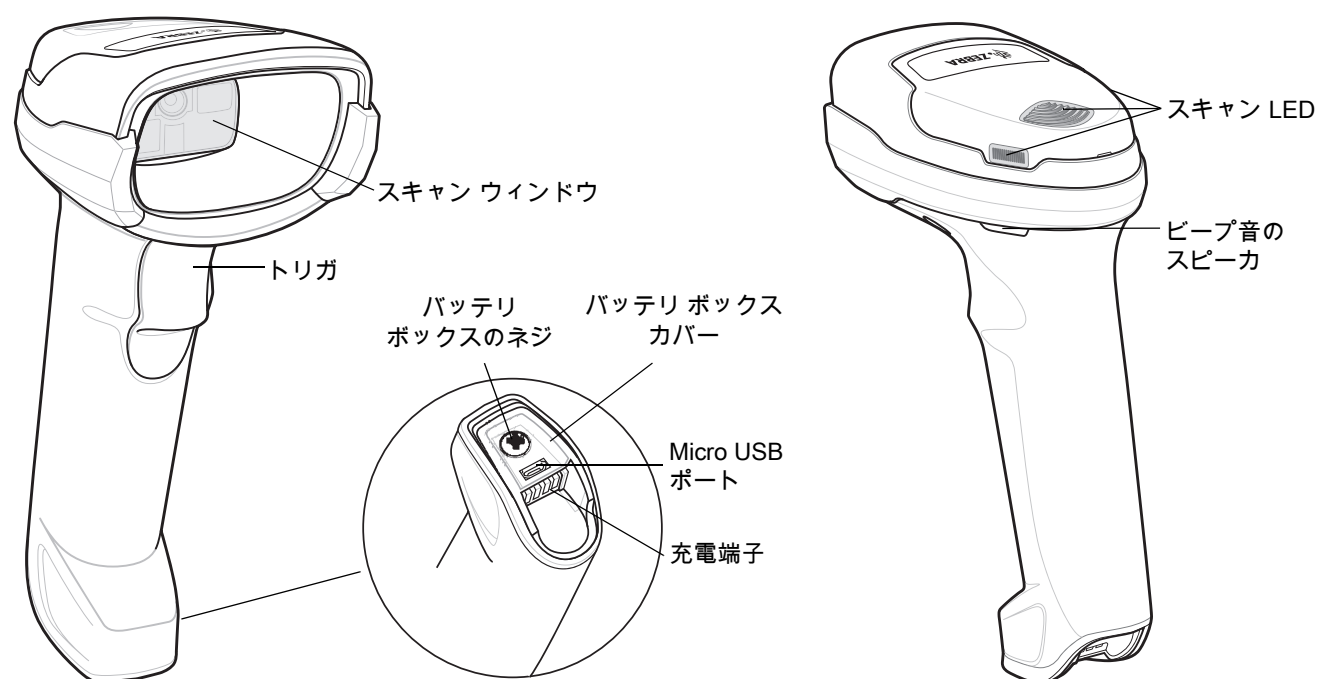


図 1-4 デジタル スキャナの外觀

## クレードルの外觀

- ✓ **注** CR2278-PC クレードルの接続、使用、取り付けの詳細については、クレードルに付属するマニュアル (『CR2278-PC プレゼンテーション クレードル クイック リファレンス ガイド』、p/n MN-002917xx) を参照してください。

CR2278-PC コードレス プレゼンテーション クレードルは、DS2278-HC コードレス デジタル スキャナの充電器、無線通信インタフェース、およびホスト通信インタフェースとして機能します。

プレゼンテーション クレードルは、デスクトップに置き、DS2278-HC コードレス デジタル スキャナを充電しながらプレゼンテーション モードでバーコードをスキャンできます。このクレードルは、Bluetooth 無線経由でデジタル スキャナ データを受信し、接続したケーブルを介してホストにそのデータを送信する方法で、ホストと通信します。ホストまたはオプションの電源から (サポートされる場合)、ケーブル経由でクレードルに電力を供給します。

### DC 電源の使用

クレードルに個別の電源ジャックはありません。使用可能な場合は、ホストから供給される電源でクレードルを操作できます。ホストの電源が限られているか使用できない場合は、電源ジャックをサポートする特定のホスト インタフェース ケーブルを使用して外部 DC 電源を使用できます。急速な充電が必要な場合は、外部電源を推奨します。接続については、ホスト インタフェースに関する章を参照してください。



**注意** ホスト エンドに対するケーブルを取り外す前に、必ず DC 電源を取り外してください。そうしないと、クレードルが新しいホストを認識できない場合があります。

### DS2278-HC バッテリーの充電

DS2278-HC で新しいバッテリーを使用する場合は、最初にバッテリーの充電が必要になる場合があります。



- 注**
1. 最初にご使用になる前に、バッテリーをフル充電することをお勧めします。
  2. 充電時間は、ホスト タイプと電源によって異なります。
  3. CR2278-PC は 5V をデジタル スキャナに渡し、デジタル スキャナによってバッテリーが充電されます。DS2278-HC の充電システムは、CR2278-PC の電源に基づいて、可能な最大電流でバッテリーに充電します。これにより、入力電源が過負荷にならず、かつ充電時間が最大限短縮されます。DS2278-HC が CR2278-PC クレードルでプレゼンテーション モードで動作しているときには、スキャン操作が多くなると充電時間が長くなります。充電のパフォーマンスを最適化するには、デジタル スキャナが誤ってスキャンを開始しないような向きになっていることを確認します。



**注意** 温度が 40°C (104°F) を超えるとバッテリーは充電されません。40°C (104°F) を超える温度でプレゼンテーション モードでスキャンしているときには、温度が下がるまでバッテリーが消耗します。バッテリーの容量が使い尽くされると、温度が低下してバッテリー充電の十分な時間が得られるまで、デジタル スキャナはスキャンを停止します。

温度に関連する障害を回避するために、推奨される温度範囲である 0° ~ 40°C (32° ~ 104°F) のみバッテリーを充電し、DS2278 を CR2278-PC 上でプレゼンテーション モードで動作させてください。理想的な温度範囲は 5° ~ 35°C (41° ~ 95°F) です。

### クレードルを使用した充電

バッテリーを DS2278-HC に取り付け、DS2278-HC を CR2278-PC クレードルに装着します (1-11 ページの「[クレードルに対する DS2278-HC のセット](#)」を参照)。デジタル スキャナが起動し、通常の充電が開始されると、クレードルの LED が緑色で点滅を開始します。



## プレゼンテーション クレードル

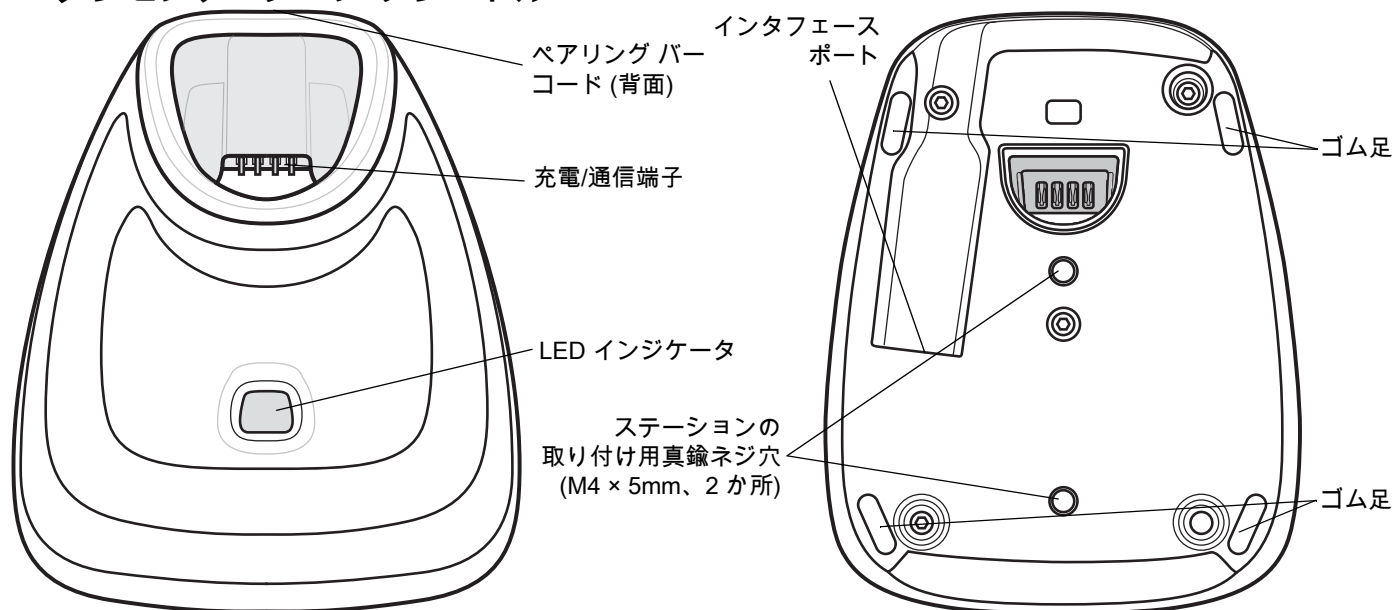


図 1-5 CR2278-PC (プレゼンテーション クレードル) - 上面図と底面図

## クレードルの接続

### ホスト接続から (充電と通信用)

1. 必要に応じて、適切なケーブルを電源ポートおよび AC 電源コンセントに接続します。これにより、ホストの検出が保証され、ホストの不適切な検出によって誤ってクレードルが逆方向に給電されることを防げます。
2. インタフェース ケーブルをホスト ポートに接続します。
3. インタフェース ケーブルをクレードルのホスト ポートに接続します。
4. デジタル スキャナをクレードルに装着するか (装着時のペアリングが有効な場合)、ペアリング バーコードをスキャンして、デジタル スキャナをクレードルとペアリングします。
5. インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャンします。

### 電源アダプタを使用して壁コンセントから (充電のみ)

1. 適切なケーブルを電源および AC 電源に接続します。
2. インタフェース ケーブルをクレードルのホスト ポートに接続します。
3. デジタル スキャナをホスト デバイス (PC、スマートフォン、またはタブレット) に直接ペアリングします。

## ホスト インタフェースの変更

接続先を変更する場合や、同じ接続先で使用するケーブルを変更する場合は、次の手順に従ってください。

1. ホストからインタフェース ケーブルを取り外します。
2. 必要に応じて、電源ケーブルをホスト クレードルから取り外します。
3. インタフェース ケーブルを新しいホストに接続します (接続先を変更する場合)。または、新しいインタフェース ケーブルを既存のホストに接続します (ケーブルを変更する場合)。
4. 必要に応じて、電源ケーブルを再接続します。

インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャンします。

## Micro USB ケーブルを使用した充電

Micro USB ケーブルは、充電専用ケーブルです。

- ✓ **注** 最適なパフォーマンスを得るために、Zebra のアクセサリをご利用いただくことをお勧めします。

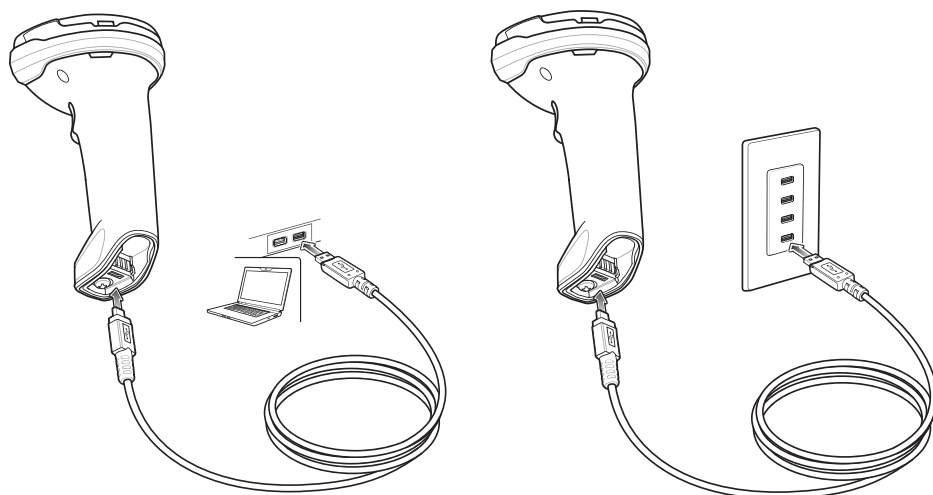


図 1-6 Micro USB 接続

Micro USB コネクタを DS2278-HC に接続します。標準の USB コネクタを PC または USB 壁面コンセントに接続します。USB コネクタが PC ホストに接続されると、デジタル スキャナは CDC デバイスとして列挙されます。充電が開始されると、デジタル スキャナの LED が緑色で点滅を開始し、通常の充電が開始されたことを示します。

### CDC デバイスの HID に対する変換

デジタル スキャナはデフォルトで、USB 上の CDC デバイスとして列挙されます。ホストに CDC ドライバがないと、デジタル スキャナをホストに接続してから充電が開始されるまでに時間がかかります。この遅延を解消するには、以下の「HID デバイス変換」をスキャンし、HID デバイスとして列挙されるようにします。このようにすれば、スキャナの充電がすぐに開始されます。

デジタル スキャナを CDC デバイスに戻すには、以下の「CDC デバイスとしてのスキャナ」をスキャンします。



HID デバイス変換



\*CDC デバイスとしてのスキャナ

## デジタル スキャナ バッテリーの遮断

長時間保管したり、持ち運んだりするためにバッテリー電源を遮断する場合は、下の「バッテリー オフ」バーコードをスキャンしてください。バッテリーの電源をオンにするには、デジタル スキャナのトリガを引きます。



バッテリー オフ

✓ 注 「バッテリー オフ」バーコードは、必ずハンドヘルド モードでスキャンしてください。

## バッテリーの取り付け

✓ 注

1. 最初にご使用になる前に、バッテリーをフル充電することをお勧めします。
2. バッテリーは、デジタル スキャナの中に実装されて出荷されます。バッテリーの取り付けが必要になるのは、交換用バッテリーを使用する場合だけです。

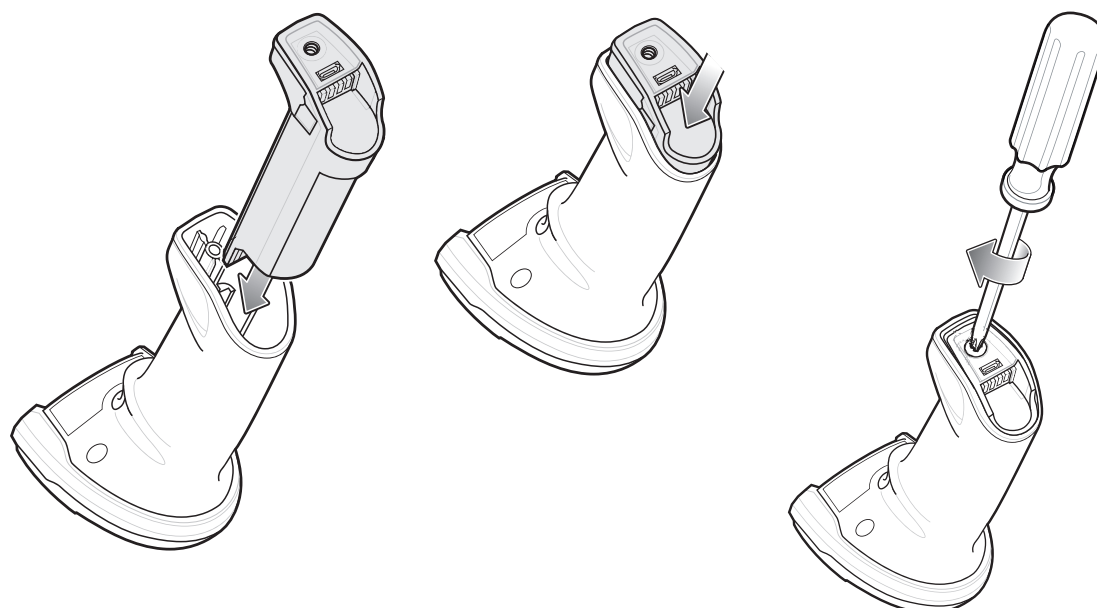


図 1-7 バッテリーの取り付け

バッテリーをデジタル スキャナに挿入するには、次の手順に従います。

1. バッテリー ボックスにバッテリーを挿入して押し下げます。

バッテリー ボックス上のネジを時計回りに回して締めます。ネジを締めすぎないようにしてください。

## バッテリーの取り外し



### 重要

バッテリーを交換するときには、古いバッテリーを取り外した後に少なくとも 5 秒間待ってから新しいバッテリーを挿入します。

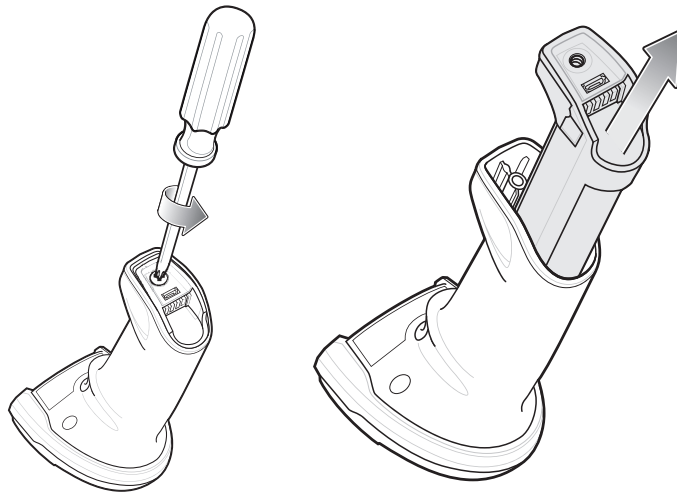


図 1-8 バッテリーを DS2778-HC から取り出す

デジタル スキャナからバッテリーを取り外すには、次の手順に従います。

1. バッテリー ボックス上のネジを反時計回りに回して外します。
2. バッテリーをバッテリー ボックスから取り外します。
3. バッテリーを交換するには、[1-9 ページの「バッテリーの取り付け」](#)を参照してください。

## クレードルに対する DS2778-HC のセット

デジタル スキャナを CR2278-PC クレードルにセットするには、次の手順に従ってください。

1. デジタル スキャナをまっすぐに降ろしてクレードル上面に挿入します。
2. デジタル スキャナが自然に前方に傾き、デジタル スキャナの端子がクレードルの端子と接触します。

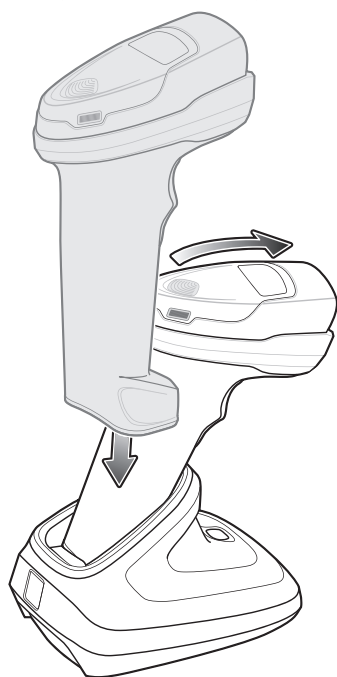


図 1-9 CR2278-PC クレードルに対する DS2778-HC デジタル スキャナの装着

## ホスト コンピュータに対するデータの送信

クレードルは無線通信によってデジタル スキャナからデータを受信して、それをホスト ケーブルによってホスト コンピュータに転送します。無線通信を確立するには、デジタル スキャナとクレードルのペアリングを実行する必要があります。

### ペアリング

ペアリングとは、デジタル スキャナとクレードルがデータ通信できるように、クレードルにスキャナを登録する操作です。デジタル スキャナをクレードルに装着するか（装着時のペアリングが有効な場合）、ペアリング バーコードをスキャンして、デジタル スキャナをクレードルとペアリングします。

デジタル スキャナをクレードルとペアリングするには、デジタル スキャナをクレードルに挿入するかペアリング バーコードをスキャンします。

✓ **注** デジタル スキャナをクレードルに接続するためのペアリング バーコードは、クレードルごとに異なります。

ペアリングが完了するまで、データやパラメータをスキャンしないでください。

### ホスト接続の切断

スキャンしたデータがクレードルの接続先ホストに正しく転送されない場合は、すべてのケーブルがしっかりと接続されていることと、正常に機能している AC コンセントに電源が接続されていることを必要に応じて確認します。それでもスキャンしたデータがホストに転送されない場合は、ホストに対する接続を再確立してください。

1. クレードルから電源ケーブルを取り外します。
2. クレードルからホスト インタフェース ケーブルを取り外します。
3. 3 秒間待機します。
4. ホスト インタフェース ケーブルをクレードルに接続し直します。
5. ホストで必要な場合は、電源をクレードルに接続し直します。
6. デジタル スキャナをクレードルに挿入するか、ペアリングのバーコードをスキャンして、クレードルに対するペアリングを確立し直します

---

### アクセサリ

デジタル スキャナには実装されたバッテリーと、『DS2278 Quick Start Guide』が付属しています。次のアクセサリは、別途注文する必要があります。

- クレードル: デジタル スキャナのバッテリーの充電、およびホストに対する通信に使用します。
- Micro USB ケーブル: デジタル スキャナに取り付けられたバッテリーに、クレードルを使用せずに充電できます。
- DS2278-HC デジタル スキャナ用の交換用バッテリー (必要な場合)。
- 適切なインタフェースに対応したインタフェース ケーブル。
- 電源 (インタフェースで必要な場合)。

全アクセサリのリストについては、**XX ページの関連製品ラインに関する構成**を参照してください。製品およびクレードルの構成について、**xix ページの構成**も参照してください。追加のアイテムについては、Zebra の販売担当者またはビジネス パートナーにお問い合わせください。

# 第 2 章 メンテナンスと技術仕様

---

## はじめに

この章では、デジタル スキャナ メンテナンスの提案と、技術仕様を説明します。

---

## メンテナンス



**重要** ウェット ティッシュを使用し、洗浄液が溜まらないように注意してください。

### 既知の有害成分

以下の化学物質は、Zebra スキャナのプラスチックを損傷させることが判明しています。デバイスには使用しないでください。

- アセトン
- アンモニア溶液
- アルカリ性のアルコール溶液または水溶液
- 芳香族炭化水素および塩素化炭化水素
- ベンゼン
- 石炭酸
- アミンまたはアンモニアの化合物
- エタノールアミン
- エーテル
- イソプロピル アルコール 70% (ティッシュを含む)
- ケトン
- TB-リゾフォルム
- トルエン
- トリクロロエチレン

### 使用可能な洗剤

- 過酸化水素
- 中性食器洗剤
- Clorox® 医療用ブリーチ殺菌拭き取りティッシュ
- Dispatch®, Clorox® ブリーチ拭き取りティッシュ付き
- Sani-Cloth® ブリーチ拭き取りティッシュ

### デジタル スキャナのクリーニング

外部ウィンドウは定期的なクリーニングが必要です。ウィンドウが汚れていると、スキャン精度に影響する場合があります。ウィンドウに研磨性の物質が触れないようにしてください。

スキャナをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. 承認されている上記の洗浄剤の 1 つで柔らかい布を湿らせるか、ウェットティッシュを使用します。
2. 前面、背面、側面、上面、底面といったすべての表面を優しく拭きます。決して液体をスキャナに直接かけないでください。スキャナ ウィンドウ、トリガ、ケーブル コネクタ、その他のデバイスの部分の周囲に、液体が溜まらないように注意してください。
3. トリガおよびトリガと本体の間のクリーニングを忘れないでください (狭い部分や手が届かない領域は綿棒を使用してください)。
4. 水などの液体を直接外部ウィンドウに吹きかけないでください。
5. レンズ用ティッシュペーパー、または眼鏡などの光学材料の清掃に適した他の素材でスキャナの外部ウィンドウを拭きます。
6. 擦り傷を防止するために、柔らかくて表面が粗くない布で掃除した後、ただちにスキャナ ウィンドウを乾かします。
7. デバイスの使用前に、十分に自然乾燥させてください。
8. スキャナ コネクタでは、次のように清掃します。
  - a. 綿棒の綿の部分でイソプロピル アルコールに浸します。
  - b. 綿棒の綿の部分で、Zebra スキャナのコネクタの端から端までを前後に 3 回以上こすります。コネクタに綿のかすが残らないようにしてください。
  - c. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分やほこりを拭き取ります。
  - d. 乾いた綿棒の綿の部分で、スキャナのコネクタの端から端までを前後に 3 回以上こすります。コネクタに綿のかすが残らないようにしてください。

✓ **注** これらのチェックを実行した後にもデジタル スキャナで問題が発生する場合は、販売店にお問い合わせいただくか、Zebra サポートに電話でお問い合わせください。



## 技術仕様

表 2-1 技術仕様

項目	説明
<b>物理特性</b>	
寸法	<p>コード付き <b>DS2208-HC</b> イメージャ:  高さ 6.5 インチ × 幅 2.6 インチ × 奥行き 3.9 インチ  高さ 16.5cm × 幅 6.6cm × 奥行き 9.8cm</p> <p>コードレス <b>DS2278-HC</b> イメージャ:  高さ 6.9 インチ × 幅 2.6 インチ × 奥行き 3.5 インチ  高さ 17.5cm × 幅 6.6cm × 奥行き 9.0cm</p> <p>プレゼンテーション クレードル:  高さ 2.8 インチ × 幅 3.7 インチ × 奥行き 4.8 インチ  高さ 7.2cm × 幅 9.4cm × 奥行き 12.2cm</p>
重量	<p>コード付き <b>DS2208-HC</b> イメージャ: 5.7 オンス/161.6g  コードレス <b>DS2278-HC</b> イメージャ: 7.5 オンス/214g  プレゼンテーション クレードル: 5.2 オンス/151g</p>
入力電圧範囲	<b>DS2208-HC/DS2278-HC</b> イメージャ/クレードル: 4.5 ~ 5.5VDC ホスト給電、4.5 ~ 5.5VDC 外部電源
公称電圧の動作電流 (5.0V)	コード付き <b>DS2208-HC</b> イメージャ: 250mA (標準) 注: イメージ取得時には自動照準および自動照明
公称電圧のスタンバイ電流 (待機時) (5.0V)	コード付き <b>DS2208-HC</b> イメージャ: 150mA (標準)。 注: 自動照準はオン プレゼンテーション クレードルと <b>Micro USB</b> ケーブル: 500mA (標準) BC 1.2 USB
カラー	ヘルスケア ホワイト
サポートされているホスト インタフェース	USB、RS232、Keyboard Wedge、RS-485 経由 TGCS (IBM) 46XX
USB 認証	USB 認証
キーボード サポート	90 種類以上の多言語キーボードをサポート
ユーザー インジケータ	直接読み取りインジケータ、読み取り成功時の LED、背面 LED、ビープ音 (音程、回数は調節可能)
<b>性能特性</b>	
モーショントレランス (ハンドヘルド)	13mil UPC で 1 秒あたり最大 5 インチ/13cm
スワイプ速度 (ハンズフリー)	13mil UPC で 1 秒あたり最大 30.0 インチ/76.2cm
光源	照準パターン: リニア 624nm の黄色 LED
照明	645nm のスーパーレッド LED (2 つ)

## 2 - 4 DS2208-HC/DS2278-HC デジタル スキャナ プロダクト リファレンス ガイド

表 2-1 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
イメージャ視野	32.8°H × 24.8°V (公称)
イメージ センサー	640 × 480 ピクセル
最小印刷コントラスト	15% (最小反射率差異)
スキューの許容度	+/-65°
ピッチの許容度	+/-65°
ロールの許容度	0° ~ 360°
<b>動作環境</b>	
動作温度	<b>DS2208-HC/DS2278-HC イメージャ:</b> 32.0° ~ 122.0°F (0.0° ~ 50.0°C) <b>プレゼンテーション クレードル:</b> 32.0° ~ 104.0°F/0.0° ~ 40.0°C
保管温度	-40.0° ~ 158.0°F (-40.0° ~ 70.0°C)
湿度	5 ~ 95% RH (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	5.0 フィート/1.5m の高さからコンクリート面に複数回落下に耐える設計
耐転倒衝撃仕様	1.5 フィート/0.5m の高さから 250 回の転倒衝撃に耐える設計 注: 1 回の転倒 = 0.5 サイクル。
環境シーリング	IP52
静電放電 (ESD)	<b>DS2208-HC/DS2278-HC イメージャ/CR2278 クレードル:</b> EN61000-4-2 に従い、+/-15KV 大気放電、+/-8KV 直接放電、+/-8KV 間接放電
耐周辺光	0 ~ 10,000 フート キャンドル/0 ~ 107,600 ルクス
<b>アクセサリ</b>	
グースネック インテリスタンド	ハンズフリー操作用スタンド
<b>無線仕様</b>	
Bluetooth 無線	標準 Bluetooth v4.0 + BLE Class 2 33 フィート (10.0m)、 シリアル ポートおよび HID プロファイル、出力調整可能 (8 ステップで 2.0dBm から)
<b>バッテリー</b>	
バッテリー容量/バッテリー タイプ	2,400mAh リチウムイオン バッテリー
1 回のバッテリー充電で可能なスキャン数	1 分あたり 60 回のスキャンで 110,000 回のスキャン、または 1 分あたり 10 回のスキャンで 50,000 回のスキャン
1 回のフル充電で可能な動作時間	84.0 時間
<b>バッテリー充電時間 (空の状態から)</b>	
標準 USB	14 時間シフト: 4 時間 フル充電: 17 時間

表 2-1 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
BC1.2 USB	14 時間シフト: 1 時間 フル充電 : 5 時間
外部 5V 電源	14 時間シフト: 1 時間 フル充電 : 5 時間
Micro USB	14 時間シフト: 1.5 時間 フル充電 : 7 時間
BC1.2 Micro USB	14 時間シフト: 1 時間 フル充電 : 4 時間
規制	
環境	RoHS EN 50581
安全規格	EN 60950-1 2ed + A11 + A1 + A12 + A2:2013、 IEC 60950-1 2ed + A1 + A2、UL 60950-1、CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-07
LED での安全	IEC 62471
IT 関連の放射	EN 55032 (Class B)
IT 関連の耐性	EN 55024
高調波電流	EN 61000-3-2
電圧変動および電圧フリッカ	EN 61000-3-3
無線周波数デバイス	47 CFR Part 15、Subpart B、Class B
デジタル機器	ICES-003 Issue 6、Class B
コード/記号読み取り機能	
1D	Code 39、Code 128、Code 93、Codabar/NW7、Code 11、 MSI Plessey、UPC/EAN、I 2 of 5、Korean 3 of 5、GS1 DataBar、Base 32 (Italian Pharma)
2D	PDF417、MicroPDF417、Composite Codes、TLC-39、Data Matrix、GS1 Data Matrix、Maxicode、QR Code、GS1 QR Code、MicroQR、Aztec、Han Xin (Chinese Sensible)
郵便コード	US Postnet、US Planet、UK Postal、Japan Postal、Australia Post、Royal Mail 4 State Customer、KIX Code (Dutch)、UPU 4 State Postal FICS (Post US4)、USPS 4 State Postal (Post US3)、Mailmark
最小エレメント解像度	
Code 39	4.0mil

表 2-1 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
Code 128	4.0mil
Data Matrix	6.0mil
QR Code	6.7mil
ユーティリティおよび管理	
123Scan	スキャナ パラメータのプログラミング、ファームウェアのアップグレード、スキャンされたバーコードデータの提供とレポートの印刷 (第 2 章「メンテナンスと技術仕様」を参照)。
Symbol Scanner SDK	マニュアル、ドライバ、テスト ユーティリティ、およびサンプル ソース コードを含む、フル機能のスキャナ アプリケーションの生成 ( <a href="http://www.zebra.com/ScannerSDKforWindows">www.zebra.com/ScannerSDKforWindows</a> )
スキャナ管理サービス (SMS)	Zebra スキャナのリモート管理、およびその資産情報の照会 ( <a href="http://www.zebra.com/sms">www.zebra.com/sms</a> )。

\* はデフォルトを示す \* パラメータを有効にする  
(1) 機能/オプション  
オプション値

## スキャン シーケンスの例

多くの場合、単一バーコードのスキャンでパラメータ値が設定されます。パラメータが正常に設定されると、高速のさえずり音が鳴り、LED が緑色に変わります。

## スキャン中のエラー

特に指定されていない限り、スキャン シーケンス中のエラーは、単に正しいパラメータを再スキャンすれば修正できます。

## ユーザー設定とその他のオプションのデフォルト パラメータ

表 3-1 に、ユーザー設定パラメータのデフォルト一覧を示します。以下のいずれかの方法で値を変更します。

- この章の該当するバーコードをスキャンします。メモリ内にある標準のデフォルト値は、スキャンした新しい値で置き換えられます。デフォルトのパラメータ値を再び呼び出す手順については、[3-3 ページの「デフォルト パラメータ」](#)を参照してください。

表 3-1 ユーザー設定パラメータのデフォルト値

パラメータ	パラメータ 番号 <sup>1</sup>	SSI 番号 <sup>2</sup>	デフォルト	ページ 番号
ユーザー設定				
デフォルト設定パラメータ			N/A	<a href="#">3-3</a>
通知を非表示モード (直接読み取りインジケータ)	859	F2h 5Bh	無効	<a href="#">3-4</a>
1. 10 進数のパラメータ番号は、RSM コマンドを使用したプログラミングで使用されます。 2. 16 進数の SSI 番号は、SSI コマンドを使用したプログラミングで使用されます。				

---

## ユーザー設定

### デフォルト パラメータ

以下のバーコードのいずれかをスキャンして、スキャナを次に示すデフォルト設定に戻します。

- 「デフォルトの復元」バーコードをスキャンすると、次のようにすべてのパラメータがデフォルトにリセットされます。
- 「カスタム デフォルトの登録」を使用してカスタム デフォルトのパラメータ値を設定している場合は、「デフォルトの復元」バーコードをスキャンすると、これらのカスタム値に戻ります。

### カスタム デフォルトの登録

カスタム デフォルト セットを作成するには、このガイドで目的のパラメータ値を選択し、「カスタム デフォルトの登録」をスキャンします。



デフォルトの復元



工場出荷時デフォルトの設定



カスタム デフォルトの登録

## 通知を非表示モード (直接読み取りインジケータ)

パラメータ番号 859

SSI 番号 F2h 5Bh

このパラメータは、自動照準と標準 (レベル) トリガ モードでのみサポートされています。以下のバーコードのいずれかをスキャンして、読み取り成功時に照明を点滅させるかどうかを選択します。読み取り時に、トリガを押して続けて照明の点滅を確認する必要があります。読み取り時にトリガを離すと、点滅は起こりません。読み取り時にトリガを離すと、点滅は起こりません。つまり、トリガを引いたままにして、読み取りが正常に行われたかどうかを確認する追加フィードバックを得ることも、フィードバックなしで通常どおりスキャンを続行することも可能です。

- \*通知を非表示モードの無効化 - 読み取り成功時に照明が点滅しません。
- 1 回点滅 - 読み取り成功時に照明が 1 回点滅します。
- 2 回点滅 - 読み取り成功時に照明が 2 回点滅します。



\*通知を非表示モードの無効化  
(0)



1 回点滅  
(1)



2 回点滅  
(2)



# 第 4 章 シンボル体系

## はじめに

スキャナをプログラムして、さまざまな操作を実行したり、別の機能を有効化したりできます。この章では、シンボル体系の機能を説明するとともに、機能を選択するためのプログラミング バーコードを掲載しています。

## パラメータの設定

機能の値を設定するには、1 つのバーコードまたは短いバーコード シーケンスをスキャンします。これらの設定は不揮発性メモリに保存され、スキャナの電源をオフにしても保持されます。

✓ 注   ほとんどのコンピュータ モニタで、画面上のバーコードを直接スキャンできます。画面をスキャンする場合は、バーコードが鮮明に見え、バーやスペースが明確に区切られて見えるまで文書を拡大してください。

USB ケーブルを使用しない場合は、電源投入ビープ音が鳴った後で、ホスト タイプを選択してください。特定のホスト情報については、各ホストの章を参照してください。この操作は、新しいホストに接続して初めて電源を入れるときにのみ必要です。

すべての機能をデフォルト値に戻す手順については、[3-3 ページの「デフォルト パラメータ」](#)を参照してください。プログラミング バーコード メニュー全体で、アスタリスク (\*) はデフォルト値を示しています。



\* パラメータを有効にする   機能/オプション  
\* はデフォルトを示す

## スキャン シーケンスの例

多くの場合、単一バーコードのスキャンでパラメータ値が設定されます。パラメータが正常に設定されると、高速のさえずり音が鳴り、LED が緑色に変わります。

## スキャン中のエラー

特に指定されていない限り、スキャン シーケンス中のエラーは、単に正しいパラメータを再スキャンすれば修正できます。

## シンボル体系パラメータのデフォルト一覧

表 4-1 にすべてのシンボル体系パラメータのデフォルトを示します。以下のいずれかの方法で値を変更します。

- この章の該当するバーコードをスキャンします。メモリ内にある標準のデフォルト値は、スキャンした新しい値で置き換えられます。デフォルトのパラメータ値に戻す手順については、[3-3 ページの「デフォルト パラメータ」](#)を参照してください。

表 4-1 シンボル体系パラメータのデフォルト一覧

パラメータ	パラメータ 番号 <sup>1</sup>	SSI 番号 <sup>2</sup>	デフォルト	ページ 番号
すべてのコード タイプの有効化/無効化				<a href="#">4-3</a>
<b>Code 128</b>				
ISBT 連結	577	F1h 41h	有効	<a href="#">4-4</a>
Code 128 セキュリティ レベル	751	F1h EFh	セキュリティ レベル 2	<a href="#">4-5</a>
<b>Composite コード</b>				
Composite CC-C	341	F0h 55h	無効	<a href="#">4-7</a>
Composite CC-A/B	342	F0h 56h	無効	<a href="#">4-7</a>
1. 10 進数のパラメータ番号は、RSM コマンドを使用したプログラミングで使用されます。 2. 16 進数の SSI 番号は、SSI コマンドを使用したプログラミングで使用されます。				

---

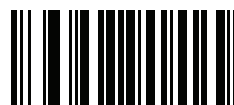
## すべてのコード タイプの有効化/無効化

すべてのシンボル体系を無効にするには、「すべてのコード タイプを無効にする」バーコードをスキャンします。この設定は、少数のバーコード タイプのみを有効にする場合に便利です。

すべてのシンボル体系を有効にするには、「すべてのコード タイプを有効にする」をスキャンします。この設定は、少数のコード タイプのみを無効にする必要がある場合に便利です。



すべてのコード タイプを無効にする



すべてのコード タイプを有効にする

## ISBT 連結

### パラメータ番号 577

### SSI 番号 F1h 41h

ISBT コード タイプに関するペアの連結オプションを選択します。

- **ISBT 連結を有効にする** - ISBT コードを読み取って連結するには、ISBT コードが 2 つ必要です。単一の ISBT シンボルは読み取られません。
- **ISBT 連結を無効にする** - スキャナでは検出された ISBT コードは連結されません。
- **ISBT 連結を自動識別する** - スキャナでは ISBT コードのペアがただちに読み取られ、連結されます。



\*ISBT 連結を有効にする  
(1)



ISBT 連結を無効にする  
(0)



ISBT 連結を自動識別する  
(2)

## Code 128 セキュリティ レベル

### パラメータ番号 751

#### SSI 番号 F1h EFh

Code 128 バーコードでは、特に読み取り桁数が「任意長」に設定されている場合に、読み取りミスが発生しやすくなります。スキャナでは、Code 128 バーコードに対して 4 種類のセキュリティ レベルを設定できます。セキュリティ レベルとスキャナの読み取り速度は反比例します。セキュリティ レベルが高いほど、スキャナの読み取り速度は遅くなるので、必要とされるセキュリティ レベルのみを選択してください。

- **Code 128 セキュリティ レベル 0** - スキャナはその性能を最大限に発揮できる状態で動作しつつ、規格内のバーコードのほとんどを読み取るのに十分な読み取り精度を確保できます。
- **Code 128 セキュリティ レベル 1** - 適切な読み取り速度を維持しながら、ほとんどの読み取りミスを除去します。
- **Code 128 セキュリティ レベル 2** - セキュリティ レベル 1 で読み取りミスを排除できない場合に、バーコードの読み取り精度要件を高めます。
- **Code 128 セキュリティ レベル 3** - セキュリティ レベル 2 を選択しても読み取りミスを排除できない場合は、このセキュリティ レベルを選択して最高の安全要件を適用します。

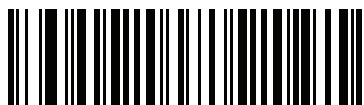
✓ **注** このオプションは、規格を大きく外れたバーコードの読み取りミスに対する非常手段として選択するものです。選択すると、スキャナの読み取り機能は大きく低下します。このセキュリティ レベルが必要な場合は、バーコードの品質の改善を試みてください。

**Code 128 セキュリティ レベル ( 続き )**

**Code 128 セキュリティ レベル 0**  
(0)



**Code 128 セキュリティ レベル 1**  
(1)



**\*Code 128 セキュリティ レベル 2**  
(2)



**Code 128 セキュリティ レベル 3**  
(3)

---

## Composite

### Composite CC-C

パラメータ番号 341

SSI 番号 F0h 55h

タイプ CC-C の Composite バーコードを有効または無効にするには、以下のいずれかのバーコードをスキャンします。



CC-C を有効にする  
(1)



\*CC-C を無効にする  
(0)

### Composite CC-A/B

パラメータ番号 342

SSI 番号 F0h 56h

タイプ CC-A/B の Composite バーコードを有効または無効にするには、以下のいずれかのバーコードをスキャンします。



CC-A/B を有効にする  
(1)



\*CC-A/B を無効にする  
(0)





# 索引

## B

Bluetooth ..... 1-5

## C

Code 128 バーコード  
FNC4 ..... 4-5  
ISBT 連結 ..... 4-4  
セキュリティ レベル ..... 4-5, 4-6  
Composite バーコード  
Composite CC-A/B ..... 4-7  
Composite CC-C ..... 4-7

## M

Micro USB ケーブル  
CDC デバイスの HID に対する変換 ..... 1-8  
HID デバイス変換 ..... 1-8  
バッテリーの充電 ..... 1-8

## U

UPC/EAN/JAN バーコード  
Bookland ISBN ..... 4-4

## あ

アクセサリ ..... 1-4, 1-12  
インタフェース ケーブル ..... 1-4, 1-12  
シールド ケーブル ..... 1-3, 1-4  
電源 ..... 1-4, 1-12

## か

外観 ..... 1-5  
各部の名称  
スキャナ ..... 1-7

## き

技術仕様 ..... 2-3  
規則  
表記 ..... vi

## く

クイック スタート ガイド ..... 1-4, 1-12  
クレードル  
スキャナに対する装着 ..... 1-11  
電源 ..... 1-6  
プレゼンテーション  
機能 ..... 1-7  
接続 ..... 1-7

## け

ケーブル  
インタフェース ..... 1-4, 1-12  
シールド ..... 1-3, 1-4  
接続 ..... 1-3, 1-7  
取り外し ..... 1-4  
ケーブルの構成 ..... vi

## こ

構成 ..... v  
ケーブル ..... vi  
製品ライン ..... vi

## さ

サービスに関する情報 ..... vii  
サポート ..... vii

## し

仕様	2-3
シンボル体系のデフォルト パラメータ	4-2

## す

スキャナ各部	1-7
スキャン	
エラー	3-2, 4-2
シーケンスの例	3-2, 4-2
パラメータの設定	3-1, 4-1

## せ

製品ラインの構成	vi
接続	
インタフェース ケーブル	1-3
接続の切断	1-12
電源	1-4
セットアップ	
クレードルに対するスキャナの装着	1-11
電源	1-6
パッケージの開梱	1-2
ホスト接続の切断	1-12
インタフェース ケーブルの接続	1-3
電源の接続	1-4

## て

デジタル スキャナ	
外観	1-5
デバイスのクリーニング	
既知の有害成分	2-1
標準デバイス用の認定	2-2
方法	2-2
デフォルト設定	3-3
デフォルト パラメータ	3-2
シンボル体系	4-2
設定	3-3
ユーザー設定	3-2
電源	1-4, 1-6, 1-12
接続	1-4

## な

中黒	vii
----	-----

## は

バーコード	
Bookland ISBN	4-4
Code 128 FNC4	4-5
Code 128 セキュリティ レベル	4-5, 4-6
Composite CC-A/B	4-7
Composite CC-C	4-7

HID デバイス変換	1-8
ISBT 連結	4-4
NR (読み取りなし) メッセージの転送	3-4
シンボル体系	
デフォルト一覧	4-2
すべてのコード タイプを無効にする	4-3
すべてのコード タイプを有効にする	4-3
デフォルトの設定	3-3
バッテリーの遮断	1-9
ユーザー設定	
デフォルト テーブル	3-2
パッケージの開梱	1-2
バッテリー	
Micro USB による充電	1-8
クレードルによる充電	1-6
遮断	1-9
充電の注意事項	1-6
バッテリーの遮断	1-9
バッテリーの充電	
Micro USB	1-8
クレードル	1-6
注意事項	1-6

## ひ

表記規則	vi
------	----

## へ

ペアリング	1-11
-------	------

## む

無線通信	
Bluetooth	1-5

## め

メンテナンス	2-1
既知の有害成分	2-1
デバイスのクリーニング方法	2-2
認定洗浄剤	2-2





Zebra Technologies Corporation, Inc.  
3 Overlook Point  
Lincolnshire, IL 60069, U.S.A.  
<http://www.zebra.com>

© 2019 ZIH Corp および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。Zebra および  
図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録され  
ています。その他のすべての商標は、その商標の各所有者が権利を有しています。